

基本目標4 【自然環境】豊かな自然と人が共生するまち



■施策・事業

- 自然環境の保全と活用
 - ▶ 良好な自然環境の保全と活用
 - ▶ 農山漁村の環境保全
- 多様な動植物との共生
 - ▶ 自然環境の保全
 - ▶ 環境に配慮した工事

■主な目標指標

	現状 (2022年度)	中間目標値 (2028年度)	目標値 (2033年度)
大田市未来につなぐ森づくり構想による原木生産量	25,846m ³	46,000m ³	49,000m ³
希少動植物指定種数	4種	4種	4種



▲ギフチョウ



▲イズモコバイモ



▲オキナグサ



▲ヒロハノカワラサイコ

基本目標5 【生活環境】みんなが健康に暮らせるまち

■施策・事業

- 健康に暮らせる環境の保全
 - ▶ 水環境の保全
 - ▶ 公害対策



▲三瓶浄水場

■主な目標指標

	現状 (2022年度)	中間目標値 (2028年度)	目標値 (2033年度)
汚水処理人口普及率	54.0%	67.0%	68.0%

基本目標6 【環境保全活動】高い環境意識で、ともに行動するまち

■施策・事業

- 環境学習・環境保全活動の推進
 - ▶ 環境学習の充実
 - ▶ 環境保全活動の推進
- 環境情報の発信
 - ▶ 環境情報の発信



▲県立三瓶自然館天体観察会

■主な目標指標

	現状 (2022年度)	中間目標値 (2028年度)	目標値 (2033年度)
環境保護イベントへの参加者数	650人/年	800人/年	900人/年
道路・河川愛護団体助成制度の利用団体数	253団体	240団体	230団体
大田市地球温暖化対策地域協議会の主催事業への参加者数	218人	230人	280人

大田市環境総合計画【概要版】

1 計画の概要

■計画策定の目的

大田市では、環境の保全及び活用に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、市民の健康で文化的な生活に寄与することを目的に、平成26年に「大田市環境基本計画」を策定し、環境保全の取組を進めてきました。また、平成31年に「大田市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定し、市民、事業者との協働のもと、地球温暖化対策の推進を図ってきました。

現行の環境基本計画が令和5年度で期間満了すること、及び地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を国の脱炭素化の方針に合わせるため、両計画を統合した「環境総合計画」を策定しました。

この計画に基づき、脱炭素社会、循環型社会及び自然共生社会などの実現に向けた取組を展開し、未来に本市の豊かな自然環境を継承できるよう持続可能な社会構築を目指します。

■計画の期間

令和6(2024)年度～令和15(2033)年度

2 環境の将来像と基本目標

■環境の将来像

歴史輝き 人と自然が共生するまち おおだ

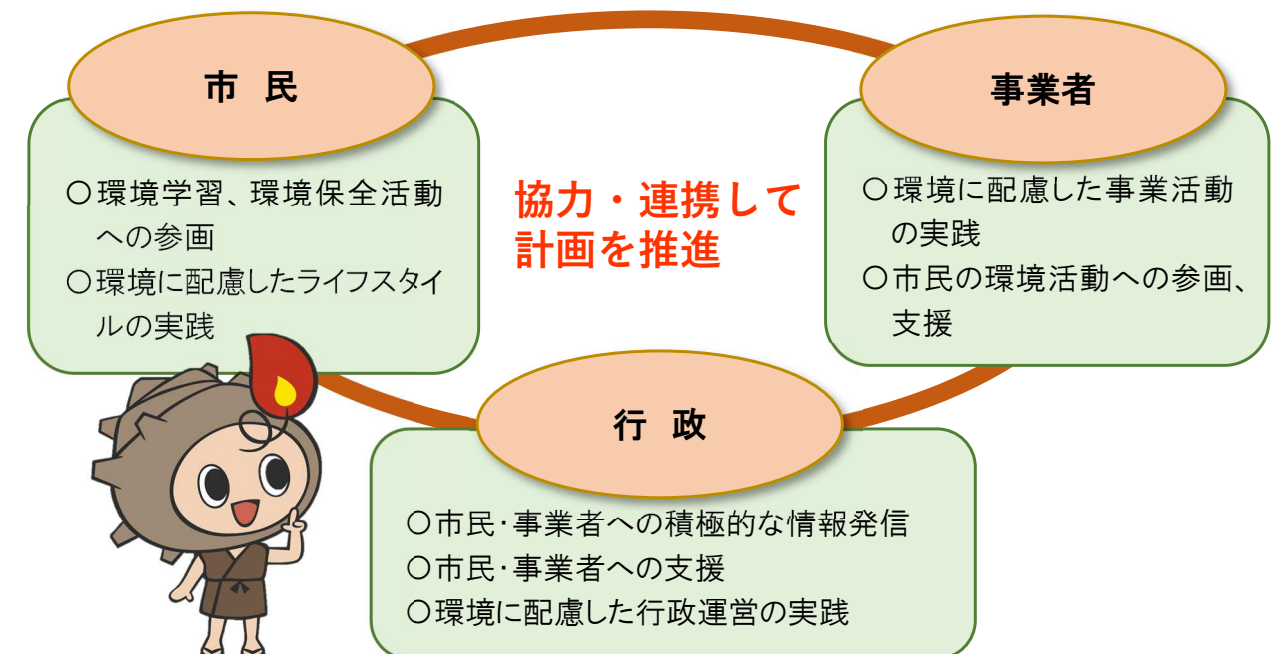
■基本目標

【基本目標】

1. 脱炭素社会づくりにトライするまち
2. 「もったいない」を合言葉に3Rを実践するまち
3. 歴史と文化のかおるまち
4. 豊かな自然と人が共生するまち
5. みんなが健康に暮らせるまち
6. 高い環境意識で、ともに行動するまち

3 計画の推進

市民、事業者、行政がそれぞれの役割を実践し、一体となって計画の推進を図ります。



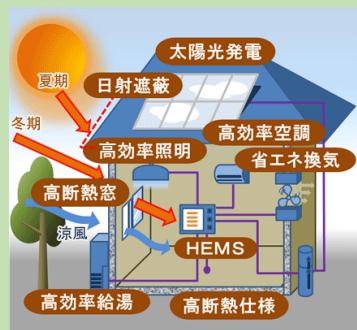
4 施策の推進

基本目標1 【脱炭素社会構築】脱炭素社会づくりにトライするまち

■施策・事業

地球温暖化対策

- 省エネルギーの推進
- 再生可能エネルギー導入の促進
- 環境にやさしい交通手段の推進
- 森林整備によるCO₂吸収源の確保
- 気候変動への適応策



▲省エネ住宅のイメージ

■主な目標指標

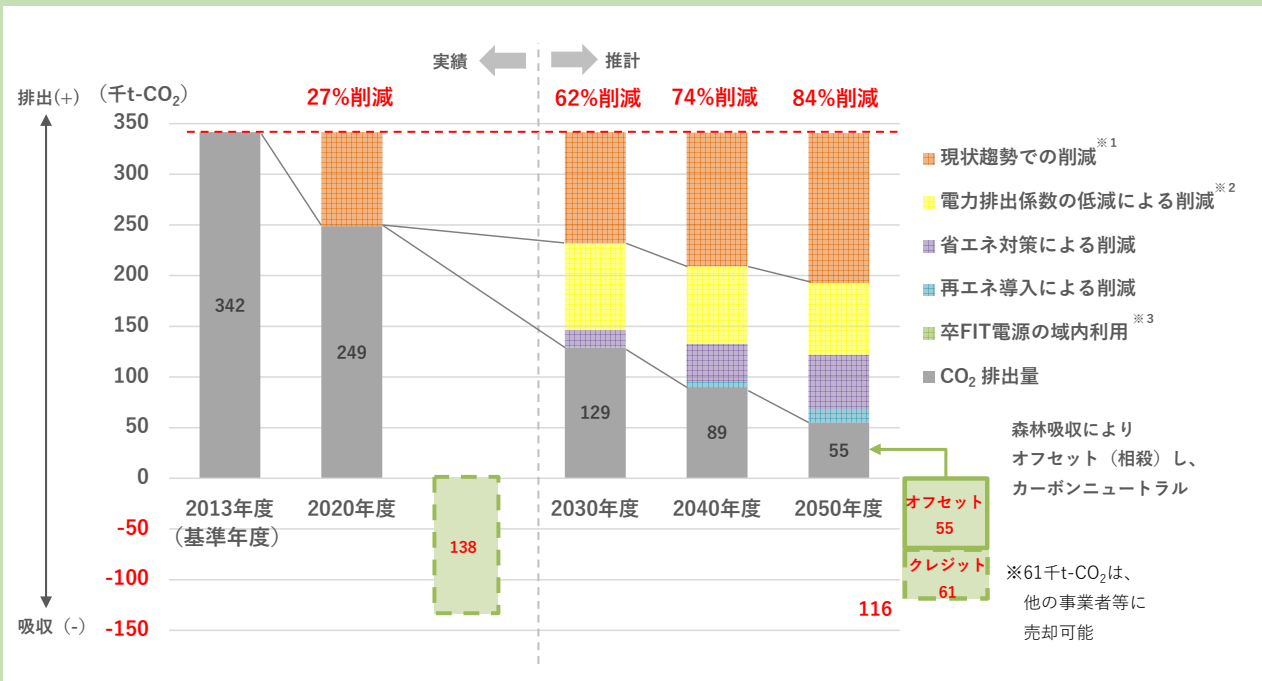
	現状 (2022年度)	中間目標値 (2028年度)	目標値 (2033年度)
太陽光発電の導入量 (累計)	22MW	28MW	42MW
太陽光発電設備などの再生可能エネルギー設備設置補助件数 (累計)	15件	84件	144件

■温室効果ガス排出量の削減目標

令和32 (2050) 年度における、カーボンニュートラル実現 (温室効果ガス排出量実質ゼロ) を目指し、将来の削減目標を次のとおり設定します。

年度	2030年度	2033年度	2050年度
削減目標 (2013年度比)	62%削減	74%削減	カーボンニュートラル

■温室効果ガス排出量の将来予測



※1 追加的な対策を行わなくても、人口減少等により見込まれる削減量
 ※2 発電等に要するCO₂排出量の減少による削減量
 ※3 現在、市内の再エネで発電され、市外に流出している電気が、将来的に市内で自家消費された際の削減量

基本目標2 【循環型社会構築】「もったいない」を合言葉に3Rを実践するまち

■施策・事業

3Rの推進

- 広報及び啓発活動
- 分別回収とリサイクルの推進
- 環境にやさしい製品の普及と利用促進

廃棄物の適正処理の推進

- 廃棄物の適正処理の推進



▲ごみの適切な分別イメージ

■主な目標指標

	現状 (2022年度)	中間目標値 (2028年度)	目標値 (2033年度)
可燃ごみ・不燃ごみの排出量	8,503t/年	6,890t/年	6,327t/年
1人1日当たりの可燃ごみの排出量	628g/日	532g/日	517g/日



◀大型塵芥車



生ごみを分解する容器「キエーロ」▶



基本目標3 【快適環境】歴史と文化のかおるまち

■施策・事業

地域景観の保全

- 大田市景観計画の適用
- 歴史のあるまちの景観の保全と活用
- 農村・漁村・山村の地域環境の維持

市街地景観の保全

- 都市公園の管理と活用
- 建築物及び屋外広告の景観への配慮



▲大森地区の歴史ある町並み

■主な目標指標

	現状 (2022年度)	中間目標値 (2028年度)	目標値 (2033年度)
伝統的建造物の修理実施棟数 (累計)	大森銀山地区: 160棟 温泉津地区: 43棟	165棟 55棟	170棟 66棟
石見銀山遺跡内の保全活動参加団体数	8団体	9団体	10団体

SDGsへの対応

SDGsは、誰一人取り残さない、持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標であり、本計画においても、持続可能な開発目標への取組を意識した視点を持ち、それぞれの環境施策において、SDGsの目標・ターゲットがどのように関連するのかを明らかにし、SDGsの実現につなげていきます。

